

2007年8月28日(火)

東寮の解体に抗議する(2007.08.28 報告)

当会より、東寮の解体日程を原田明夫理事長と大学当局に再々問い合わせておりましたが本日に至るまで回答を得られなかったため、東京女子大学レーモンド建築 東寮・体育館を活かす会は、藤原代表の留守を預かった発起人の永井路子氏と事務局メンバー等計7名が工事進捗状況を知るべく、8月28日午後12時大学正門に集合し、湊晶子学長ならびに桃井事務局長へ面会を申し入れました。

しかし学長は不在、事務局長も昼食で不在との返答を受け、当会一行が東寮に向かう途中に桃井事務局長に遭遇。一行より桃井氏に対し東寮解体の抗議を行い、解体状況確認のための現状開示を強く要請し、桃井氏の案内のもと、工事中の東寮内に入りました。20日朝にお祓いをすませ、樹木伐採と東寮内部の解体はすでに終わり、28日当日には寮の躯体部分の解体も始まっていました。工事再開のため12時40分頃には現場を後にしましたが、私たちが見た現状の一部を下記写真でご覧ください。

この日、桃井氏にアーカイブの件も確認。「専門家に解体前から中の記録写真を撮らせている。3D(立体映像)にして公開するし、解体現場の写真は、要望があればお見せすることを約束する。アーカイブ委員会の委員長は湊氏、実質的な担当は水藤先生(博物館学担当教授)。1922年の礎石、閉寮の記念碑(文言は当会藤原代表)も保存。本館内に個室やパラーの暖炉を再現して展示する」とのこと。当会は、今後ともフォローしていきます。



塀の間からズームアップして東寮を望む



正面玄関に入って右手の部屋



通用口、集会室へいたる部分の解体



東寮前の木々は全て伐採、空虚な空間へ

東京女子大学レーモンド建築 東寮・体育館を活かす会